

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 3 月 22 日

Table with 4 main sections: 1. Policy/Strategy (政策体系), 2. Financial Accounting (財務会計), 3. Budget (予算科目), 4. Legal Basis (法令根拠). Includes details like 'Family Care Exchange Project', 'Elderly Welfare Promotion', and 'Nursing Insurance Special Account'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table for (1) Overview of Business Activities (事務事業の概要). Includes: ① Business Overview (In-home elderly care for families), ② Business Content/Methods/Order (Business review, contract work, etc.).

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table for (2) Business Methods, Targets, Intentions, and Indicator Trends. Contains three main parts: ① Methods (交流活动), ② Targets (在宅で介護を受けている高齢者), ③ Intentions (交流会参加者数).

(3) 投入量(事業費)の推移

Table for (3) Input Volume (Business Expenses) Trends. Shows expense breakdown by source (National, Prefecture, Local, etc.) and personnel costs (staff, business hours, etc.) from 2017 to 2031.

事業費の内訳

Table for Business Expenses Breakdown. Compares 28th year actual expenses (155千円) and 29th year budget (2,000千円) across categories like 'Commission' (委託料).

(4) 当該年度の実施内容

Table for (4) Implementation Content. Columns for 29th, 30th, and 31st year business content. Includes a note: 'Main business: Mayor's Manifesto, Future PJ Business, etc.' with an arrow pointing right.

事務事業名	家族介護者交流事業	事務事業No.	20602000025	所属課	高齢福祉課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 大和地区で合併前から家族介護者交流事業を実施していた。介護者の精神的負担を軽減するために市全体に広げて実施するのが望ましいという判断から、市内全域を対象に実施した。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 自分だけでなく介護をしている人は同じ悩みを持っていることわかり勇気づけられた。介護から解放され、介護者同士の時間を持つことができてよかった。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	多くの家族介護者に参加してもらうため事業内容を検討したり、引き続き事業の周知を広報誌に掲載したり、介護長寿課の窓口に事業案内を置いたりする。また、ケアマネジャーから要介護者の家族に事業参加への呼びかけをお願いする。参加者が、安心して参加ができるよう要介護者のデイサービス等の利用日を開催日に変更する。

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 家族介護者交流会で在宅介護者の身体的・精神的負担を軽減することは、在宅福祉の進展に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 在宅介護者を支援し身体的・精神的負担を軽減することは、在宅福祉の向上に結びつく。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 多くの家族介護者に参加してもらうため、事業内容の検討やPRを工夫することにより、成果を向上する余地がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 在宅介護者の交流の場がなく、身体的・精神的な負担が重くなり、安心して在宅介護生活を送ることが困難になる。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他の類似事業がない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費が必要経費のみであり、削減の余地はない。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内の在宅高齢者を介護している家族を対象としているため、公正・公平である。
公平性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 事業参加対象者が限定されるため、交流会を企画してもなかなか参加者が集まらない。そのため、事業の趣旨及び参加条件などを見直し、要綱改正を行った。																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	⑧																							
		コスト削減優先度評価結果	⑥																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>